

# 夢のひとから

平成18年11月14日  
発行所: OCEAN 21  
(おきな)

番付 11 号

前回委員会において「からこい大人のモデルを見る」というお話がありました。子ども達も親や先生以外の大人と接する機会が減ってきているという現状が問題点として挙げられました。今回首里中の取り組みでは中学1年生が「本当に目を輝かせて企業の方々に質問したいという姿勢がとてとても印象的でした。やはり、地域が子どもを育てる」が一番の考えです!! と実感した日でした。

## RBC - 琉球放送

## 最新ニュース

首里中学校でキャリア教育 中学生のアイデアで商品開発

更新日: 11月13日月曜日

旅行プランやTシャツのデザインなど、新商品の開発を通して子ども達の職業観を育むキャリア教育が、さよ、那覇市の首里中学校で行われました。

キャリア教育は、体験学習を通して、仕事の楽しさや厳しさを学んで欲しいと、経済産業省の委託で行われています。

今回、首里中学校1年生が体験する「社長からのミッションプログラム」は、企業が与えた課題に対し、生徒達が、3ヶ月かけて市場調査や商品開発を行い商品化を目指すものです。

さよは、プログラムに協力した県内7つの企業の社長や担当者が訪れ、会社の概要や、会社の求める商品・商品開発に当たっての課題について説明しました。

生徒達は、この課題をもとに新商品を開発し、来年2月に、企業に対するプレゼンテーションを行い、商品化を目指しています。

## ◆ ニュース映像

## OTV 沖縄のニュース

子どもたちに働くことの楽しさを感じてもらおうと那覇市の首里中学校で職業体験学習が行われています。

この取り組みは子供達に職業観を育んでもらう「キャリア教育」と呼ばれるもので経済産業省が企業などに委託して去年の4月から全国で実施しているものです。県内では4校がモデル校に指定されていてこのうち那覇市の首里中学校ではブライダル業や旅行会社など7つの企業の協力で1年生269人が市場調査や商品開発などを3ヶ月間にわたって行うことになっています。今日は企業の代表が学校を訪れ、生徒たちに会社概要を説明した後、新しい商品の開発を提案するよう依頼しました。今日の説明をもとに生徒たちは後日挑戦したい職業を選び練習に臨みます。来年2月には企業への新商品の提案発表会が行われ採用されたものは商品化される可能性もあるということです。

(株)エア沖縄 →  
吉岡修社長にも  
ご協力頂いています!

## NHK沖縄のニュース

子どもたちに働くことの楽しさを感じてもらおうと那覇市の中学校で13日、生徒が旅行プランやお菓子の新商品の開発などに携わるユニークな授業が始まりました。

この授業はいわゆる「ニート」など働かない若者の増加が社会問題となる中で生徒たちに働くことへの意識を高めてもらおうと経済産業省が全国各地で行っている教育プログラムです。

那覇市の首里中学校で行われた授業には、1年生およそ270人が参加しました。

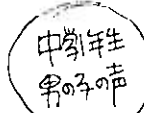
はじめに旅行会社や商社など県内7つの企業の担当者が「夏休みの家族旅行のプラン」や「県産の素材をつかったおみやげのお菓子」、それに「みんなが見えるウエディングプラン」など課題となる商品のテーマを生徒に説明しました。

このあと生徒たちはグループごとに分かれ、企業の担当者に「最近はどうな商品が売れるのか」といった質問をするなどして商品開発のアイデアの参考にしていました。生徒たちは今後、企業担当者から営業戦略の方法を学んだり、市場調査を行ったりしながら来年2月に新商品のアイデアを発表することになっています。

そしてその中から優れた商品が採用されて実際に売り出されるといこうことで

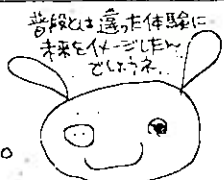


「どうせせ？」  
9問いけに...



社長の言葉聞いては聞  
うらドキドキはー(×)

就職面接の時、こいなか...



お前は、俺、おれに  
おれに、おれに、  
おれに、おれに、  
おれに、おれに、

